

議案の紹介

今定例会に提出された議案 30 件全てが可決され、成立しました。(8面の賛否一覧表を参照) 以下、成立した議案の一部を紹介いたします。

平成十七年度補正予算

一般会計 衆議院議員選挙費・県議会議員選挙費の追加、市営住宅建設費の追加による約二億円(約二億)の追加など

地方税法の改正により新たに個人の市民税の均等割を課せられる者に対して均等割の税率の軽減措置を講ずるとともに、被災住

宅用地に係る固定資産税の特例の適用を受けるための申告等の期間を延長する等のもの
市営住宅に入居することができず、市営住宅の駐車場を使用することができない者が具備しなければならない条件を改めるもの。また、薬師堂市営住宅及び同児童遊園を廃止する等のもの
上愛子地区計画、荒浜地区計画及びあすと長町西部地区計画の区域内の建築物に関する制限を定めるもの
非常勤消防団員の最高年齢を引き上げる等のもの
農業委員会等に関する法律の改正を考慮し、農政部を構成する委員の定数を改定するもの
仙台市ガスの基準単位数を改定し、調整単位数の適用基準を変更するとともに、最大需要

期等の期間を改めるもの(仮称)宮城野区文化センター等用地を取得するもの
新田東土地区画整理事業施行地区内において、町の区域をあらたに画するもの
市道について五十四路線を認定し、四路線を廃止するもの
新仙台市天文台整備・運営事業について、契約を締結するもの
仙台市人事委員会の委員の選任
稲葉 馨
人権擁護委員候補者の推薦
土井 浩之 吉岡 寛
村上 幸子 佐藤 鐵城
佐々木 両道 加藤 栄一
農業委員会選任委員の推薦
熊谷 善夫 斎藤 重光
笠原 哲 赤間 次彦

フォーラム 仙台

日下 富士夫 議員

松森工場の早期正常化に向けた万全の取り組みを

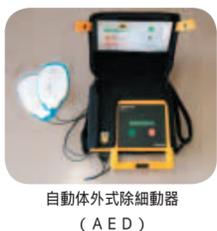
問 松森工場は試験運転でトラブルが発生し全炉停止に至ったが、事故原因の改善策についての第三試験再開による検証方法は、また、試運転再開にあたっては市民の理解が欠かせないと思うがいかがか。

答 客観的な立場からの検証が重要と考え、(財)日本環境衛生センターと(社)全国都市清掃会

問 事故の再発防止のための改善策は、また、本格運転の時期はいつ頃になると見込んでいるのか。

答 改善策には、報告と指示の徹底、様々なケースでの予防マニュアルの作成など、安全・確かな運転の方策を盛り込んでおり、これらの対策を基に確かな改善を図る。また、七月当初に試運転できるよう努力したいが、本格稼働は

議に依頼し、現地調査等を基に事故原因・改善策等の意見を提言をいただき報告を取りまとめた。また、再稼働には事故原因と改善策、今後のこみ処理体制等について市民の方々のご理解が重要なので、市政だより等による全市民的な広報とともに、地域住民の方々には文書の配布等により、重ねてご理解をいただいてまいりたい。



自動体外式除細動器 (AED)

改善策を確実に実施し、施設の安全に万全を期すのが前提であり、試運転で機能を十分に確認した上で、本格稼働に移行したい。その他の主な質疑項目
知的クラスター創成事業の成果と今後の取り組みについて
市税収入率向上対策の強化を消防団や自主防災組織への自動体外式除細動器(AED)の取り扱いの普及拡大について

みらい台 仙

郷湖 健一 議員

松森工場のトラブルと地域住民について

問 松森工場は、説明会の開催により、大方の住民の理解を得て建設が行われたが、今回のばいじん発生が周辺地域にどのような影響を及ぼしたか。また、市長は工場建設に理解を示した住民に対してどのような気持ちでいるのか。

答 発生したばいじんは、未燃炭水素類の燃焼が生じたらずで



松森工場関連市民利用施設「スポーツパーク松森」(泉区)

炭素が九十九%以上を占めており、またばいじん及びばいじん中のダイオキシン類による周辺環境への影響は、大気中の環境基準を大きく下回っていると推計される。工場建設にあたっては、「市民の生活環境に最大限配慮する」という基本理念のもとに推進してきたが、市民の皆様、特に地域の皆様が大変なご心配、ご迷惑をかけて誠に申し訳なく感じている。

消防団の活動体制について
問 切迫する宮城県沖地震から市民の生命、財産を守るため、本市消防団の活動体制をどのように充実強化していくのか。

答 市民の安全・安心を確保するため、引き続き消防団員の確保や装備の充実、そして団員の処遇の改善に努めるとともに、災害即応体制の強化等、消防団の活動体制を総合的に充実強化していく。その他の主な質疑項目
松森工場への対応と本格稼働のスケジュールについて
藤井市政三期十二年の総括と未来に向けた課題認識について
地下鉄東西線事業が市長選の争点となることについて

自由民主党

赤間 次彦 議員

鶴ヶ谷第一市営住宅団地再整備推進事業について

問 本事業が今後の鶴ヶ谷地区のまちづくりに与える影響は極めて大きいものと考えますが、目的と計画の概要について伺う。

答 狭小で老朽化した市営住宅の居住環境を改善するとともに、地域の方々が安全・安心に生活し、利便性が高く、かつ交流が促進されるよう、鶴ヶ谷地域の再生に寄



再整備が計画されている鶴ヶ谷第一市営住宅団地(宮城野区)

与する拠点づくりを進めることを目的としている。
目的達成のため、平成十九年度から二十五年度までの期間で、多様なライフスタイルに対応し、パリアフリー化した七百戸の市営住宅を建設する。また、住宅の高層化等により生み出す土地には市民センターや児童館、中央広場等の公共施設を整備し、民間の福祉施設や住宅、商業施設等を誘導する。

市税の徴収対策について
問 市税に係る徴収対策の現在までの具体的取り組みと、その効果について伺う。

答 早期かつ確実な着手、財産調査の徹底、差押を中心とした処分の三点を重点的に進めており、特に確実な収納に結びつく債権差押に力を入れている。また、職員に実務指導を行う国税OB嘱託職員の採用など、徴収体制の強化を図ることにより、収入率の向上と収入未済額の圧縮について着実な成果が得られている。
その他の主な質疑項目
まちづくりの総括について
松森工場について
公の施設の管理のあり方について

代表 表 質 疑

議案に対する各会派の代表質疑と答弁の要旨などを掲載しています。

公明党

嶋中 貴志 議員

プロスポーツを活用した仙台市の活性化について

問 プロスポーツを都市の資源として本市の活性化に結びつけるため、楽天に対し、ペガルタのようにホームシティとして一段の支援策を検討してはどうか。

答 これまで、官民一体で設立した「楽天イーグルス・マイチーム協議会」や球団との連携事業のほか、本市独自の事業にも取り組



楽天イーグルスにゴールキーパーの支援策を対する一段の支援策を(写真提供:株式会社楽天野球団)

地域防災計画の見直しについて
問 地域防災計画において、地

震対策はどのように見直しをしていくのか。
答 先般の新潟中越地震等の地震では、通信手段の確保、被災者の心理的ケアの必要性、ビルからのガラス片の落下等、新たな課題が指摘された。災害から得られた教訓を本市に当てはめて、随時見直しを行い、宮城県沖地震への備えを確固たるものにしていく。
その他の主な質疑項目
ごみ減量に向けた取り組みについて
市営住宅に関し車イス住宅、民間住宅の借上げ、子育て世帯の入居しやすい取り組みについて
防災機能を有する「道の駅」の設置について
小規模企業に対する経済政策について
新地方行革指針について

社民党

小山 勇朗 議員

市営住宅の建替えと早急な戸数増を

問 長引く不況下で市営住宅への入居希望者が急増しており、早急な戸数増が図られるべきだが、いかがか。

答 民間住宅の空きが多いことから市営住宅は現在の管理戸数を維持したい。また、民間借上住宅制度、高齢者向け優良賃貸住宅制度など民間の力を活用しながら公

的整備もできる手法を検討し、改めてどのような需給バランスが適切か精査していく。
連続した緑空間の形成と既存施設のネットワーク化を
問 都心部に厚みのある緑空間をどのように創造するのかが伺う。また、緑にかかわる農業園芸センター、野草園、秋保大滝植物公園など既存施設のネットワーク化を図るべきと考えますが、いかがか。

答 従来の道路、公園等の重点的緑化に加え、東一番通や青葉通の道路空間の再構成を検討し、新たな緑化スペースを創出するなど、緑豊かな都市空間の創造に向けて取り組む。緑にかかわる施設のネットワーク化は、施設利用の相乗効果高め、緑資源の有効活用を図る上で重要であり、各施設



青葉通のけやき並木

本 日 共 産 党

福島 かずえ 議員

松森工場周辺住民へ市長は直接、説明とおわびを

問 松森工場の事故で、「ダイオキシン」の放出は国基準の十分の一以下にする」との約は損ねられ、市長は、直接、周辺住民へ必要な事態の説明とおわびをすべき

答 今回の事故は、全市民の生活にかかわることなので、平等な情報提供が必要と考え、これまで会見等の機会を通じ、各般の事態

「焼却依存」から「脱焼却・脱埋立」へ
問 「焼却依存」から「ごみ減量、脱焼却、脱埋立」に転換し、「はじめに大型焼却炉ありき」を改めること。また、「ごみ減量に本格的に取り組むため、紙ごみとプラスチックごみは全量回収して、資源化するべき。」

答 プラスチック製品は素材別リサイクルとなるよう国等に法改正を要望している。また、紙ごみは、工場への搬入禁止に加えて、集積所を利用した定期回収のモデル事業を十月から約二万世帯を対



集団資源回収の様子

その他の主な質疑項目
松森工場談合疑惑を解明すべき地元建設業者を締め出す鶴ヶ谷市営住宅再整備事業の一括発注方式はやめるべき

仙台・グローバル

加藤 栄一 議員

松森工場稼働事故と危機管理

問 事故の要因は人為的ミスの重なりにある。市の現場職員の技術的な未熟さや新装置への原理的な理解不足のために故障に気づけなかったのなら、その対応を認めてきた管理者の責任と考えるがいかがか。また、今後の総合的危機管理体制づくりについても伺う。

答 試運転中で、計器類の保守

点検は施工業者の責務において行われていたが、その故障状態を長期間チェックできなかったことには市として責任を痛感している。今回とりまとめた改善策は、二重、三重の人為的ミスの予防策を講じており、今後、これを確実に実施したい。また、広報等の取り組みに十分留意し、工場の安全性に対する市民の信頼を再び確かなものとし、今回のトラブルに関わる危機管理責任を果たしていく。
新天文台整備事業

問 押しつけられた知識から発想・創造への転換を図るため、学校と天文台の連携と、子ども達に役立つ市民参加の天文台づくりへの取り組みについて伺う。

答 天文台の持つ様々な技術的



新天文台の完成イメージ(青葉区錦ヶ丘地区に建設予定)

その他の主な質疑項目
本市の国民健康保険事業
藤井市長への所懐